

二宮金次郎像の調査・研究

【音更町】

〈音更町立東土幌小学校〉（東向き）



全体像



台座正面



台座裏面



近影

〈注〉文中の沿革史とあるのは、当該校の学校沿革史を示し、同じく町史も当該町のものを示します。

◇建立日 昭和10年11月3日（台座）
昭和11年11月3日（沿革史）
昭和16年11月22日（告別式、沿革史）

◇寄贈者 不明

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約110cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ～ 報徳

側面 ～ 昭和十年十一月三日竣工

裏面 ～ 聖駕奉近記念

※台座側面・裏面の文字は、正確に読み取ること難しく、判読できる文字のみを記した。

◇所見・由来等

東土幌小学校の校区には、報徳という地区名があり、学校の近くの寺は報徳寺という名が付けられている。このことから、尊徳に縁の深い土地柄のように感じた。沿革史によると昭和16年11月22日に告別式が行われていることから、戦争に関わって、供出されたものと思われる。尚、現在の像については、建立日や寄贈者などは、不明である。
（調査日 平成22年8月17日）

〈音更町立下土幌小学校〉（東向き）



全体像



台座正面



台座裏面



近影

◇建立日 昭和11年9月29日（除幕式、沿革史・台座）

◇寄贈者 不明

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約195cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ～ 報徳

裏面 ～ 行幸奉迎記念建之

昭和十一年九月二十九日

題字下土幌校長 工藤繁太郎氏

帯廣十三輪 納

◇所見・由来等

昭和11年の建立となっているが、台座はいつの時代か補修されたように比較的新しく感じられる。また、像の傷みも少ないように感じた。像は、校門から少し入った所に建てられ、登下校する児童を見守るような（児童が仰ぎ見ることのできる）位置に建立されている。

（調査日 平成22年8月17日）

〈マツダ樹生園 金次郎ふれあい通り〉(東向き)



全体像



近影



台座正面



台座側面



文部省唱歌



公園全体

◇建立日 不明

◇寄贈者 松田栄治

◇像の高さ 約 145cm

◇台座の高さ 約 85cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮金次郎

側面 ~ 報徳

二宮尊徳翁の教訓の基に
次代を担い地域の彌栄と
悠久の天地の恵みにより
吾ら生かされ創造無窮の
発達を信じ建立する

◇所見・由来等

木野東小学校校門の向かいに、「金次郎ふれあい通り」と名付けられた小さな公園(広場)がある。その中に立派な銅製の金次郎像がある。建立者である松田栄治氏の会社創立70周年を記念して公園とともに建立したとされている。公園内には、金次郎の文部省唱歌を貼った掲示板もあり、金次郎を知り理解する上で、大きな役割を果たしている。尚、建立の由来は、台座側面の文中に記され、建立者の思いが伝わってくるが、現地を訪れて直に触れてみることを薦めたい。

(調査日 平成22年10月14日)

〈音更町立昭和小学校〉(北向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

◇建立日 昭和10年6月20日(台座)

◇寄贈者 岩城竹蔵(台座)

◇像の高さ 約 90cm

◇台座の高さ 約 175cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ~ 報徳

裏面 ~ 寄贈岩城竹蔵(故三男昭雄を偲んで)

昭和十年六月二十日

??学校長 亀山省吾

◇所見・由来等

台座裏面の記述にあるように、岩城竹蔵氏によって、三男昭雄氏が逝去されたことを偲んで建立したようである。管内でも昭和10年代に金次郎像を建立した所は比較的多く、他と同様に報徳のおしえの普遍性を祈念して建立する意味も含めてのことだと思われる。尚、台座裏面の学校長名の??の部分、判読不明である。

(調査日 平成22年 8月17日)

〈音更町立駒場小学校〉(北向き)



全体像



台座正面



近影



台座裏面

- ◇ 建立日 昭和15年9月(台座)
昭和12年12月12日(沿革史)

- ◇ 寄贈者 音道幸吉(沿革史)
- ◇ 像の高さ 約90cm
- ◇ 台座の高さ 約100cm
- ◇ 像の材質 コンクリート製
- ◇ 台座の文字等

正面 ~ 報徳 渡部辰衛書
裏面 ~ 建立の理由などを記したプレートが埋め込まれている。

- ◇ 所見・由来等

台座裏面に埋め込まれた石材のプレートに記された内容によると、音道幸吉氏の子息が支那事変で戦死されたことから、親族とともに偲ぶ意味も含めて建立したとのことである。駒場小学校の卒業生でもある現校長の話によると、以前から同じ場所に建っていたとのことである。像の傷みは少なく、グラウンドと校舎全体を見渡す所に建っている。尚、建立と思われる日付は、台座プレートと沿革史で異なっている。

(調査日 平成22年10月14日)

〈音更町立下音更小学校〉(西向き)



全体像



近影

- ◇ 建立日 昭和15年(沿革史)
- ◇ 寄贈者 塩崎(沿革史)
- ◇ 像の高さ 約95cm
- ◇ 台座の高さ 約105cm
- ◇ 像の材質 コンクリート製
- ◇ 台座の文字等 ~ なし

- ◇ 所見・由来等

校舎の新築移転(平成2年)にともない、像も一緒に移設されたとのことである。像は児童玄関を見渡す位置に建立されている。尚、左手首の本を持つ部分が欠損している。

(調査日 平成22年10月14日)

〈旧音更町立然別小学校跡〉(北向き)



全体像



近影

- ◇ 建立日 旧像 昭和16年5月11日(沿革史)
昭和16年11月22日(告别式、沿革史)
現像 昭和18年6月16日(沿革史)

- ◇ 寄贈者 旧像 本田由太郎 現像 不明
- ◇ 像の高さ 約95cm
- ◇ 台座の高さ 約105cm
- ◇ 像の材質 コンクリート製
- ◇ 台座の文字等 ~ なし

- ◇ 所見・由来等

旧像は銅製で、建立後、僅かな期間で供出されたと思われる。台座には、報徳や金次郎に関わる表示物は見られない。どの像も様々な表情を持つが

この像にはひたむきさを感じさせるものがある。
尚、供出の日には告別式、再建立の日には帰還式
も行われたことが、沿革史に記されている。

(調査日 平成22年10月14日)

【土 幌 町】

〈土幌町立上居辺小学校〉(東向き)



全体像



近 影



台座正面



台座裏面

◇建立日 昭和11年10月(台座)

◇寄贈者 佐藤真雄(台座)

◇像の高さ 約95cm

◇台座の高さ 約145cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ~ 報徳

裏面 ~ 贈 佐藤真雄

念紀幸行
月十年一十和昭
團年青辺居上

◇所見・由来等

台座裏面のプレートによると、昭和11年10月の建立であることが伺える。像や台座に目立った傷みは見られず、どの時点かは不明であるが、再建立されたように目新しく感じた。また、像は、かつて正門だったと思われる場所に建立されていて、児童が日々像を仰ぎ見ながら登下校していたと思われる。(調査日 平成22年 8月4日)

〈土幌町遊水公園内・町長公宅跡〉(南向き)



全体像



台座正面

◇建立日 平成3年11月(碑文)

◇寄贈者 土幌二宮尊徳像建立期成会
会長 鈴木辰治(碑文)

◇像の高さ 約110cm

◇台座の高さ 約140cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳幼年の像

裏面 ~ 報徳訓全文

◇所見・由来等

整備された公園の一画に佇んでいる。台座裏面には、報徳訓の全文が刻まれている。また、像の横の碑には、尊徳の足跡や建立に至る趣旨が記されている。その裏面は、「二宮金次郎の歌」(文部省唱歌)も刻まれている。碑文には、町開基70周年、農協創立60周年を記念し、報徳のおしえを実行して、自家と郷土発展に精進することを、建立の意思として明確に刻まれている。像建立の中心となった鈴木辰治氏は、町議会議員や農協の理事などの要職を務め、町政や農業の振興に尽くされた方である。像の建立に関わって、広く寄附を



台座裏面の報徳訓



近 影



像の横の碑の表面

(尊徳の足跡や建立の由来が記されている)



碑の裏面

(二宮金次郎の歌・
文部省唱歌)

募ったそうであるが、仲良し会からの寄附は多額にのぼったそうである。仲良し会とは、辰治氏に縁（婚姻の縁組など）のある方々で集っている会で、人の世話を厭わない辰治氏の人柄が、像の建立に結びついている。尚、像の建立されている所は、町長公宅跡である。一度は現地を訪れ、像や建立の意思などに触れる価値はあるようだ。

(調査日 平成 22年 8月 4日)

〈土幌町鈴木洋一様宅〉(南向き)



全 体 像



台座裏面

◇建立日 昭和56年5月(台座)

◇建立者 鈴木辰治(台座)

◇像の高さ 約 87cm

◇台座の高さ 約 90cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳翁之像

裏面 ~ 昭和五十六年五月

鈴木辰治建立



近 影



台座正面

◇所見・由来等

個人での金次郎像の所蔵は、大変珍しい。建立者は、像の所蔵者である鈴木洋一氏の父辰治氏である。洋一氏の話によると、辰治氏は二宮尊徳に心酔していて、金次郎の生き方などを後進子孫に伝えるべく像を建立したとのことである。建立日は、台座裏面のプレートに記されているように、昭和56年5月である。金次郎像の背後には、同年の7月26日に設置された掲示板があり、表面は辰治氏の功績、裏面は報徳訓が書かれてある。仲良し会の寄贈によるものである。尚、台座は平成23年に洋一氏が補修をしたそうであるが、台座正面と裏面のプレートは、当初のものである。像は、父の遺志を継ぐ洋一氏によって、大切に保管・管理されている。調査は1月に行ったので、像の周囲は雪が積っていたが、春には整備された樹木や芝生の中に佇む姿が見られるとのことであった。特に芝桜の咲くころが美しいそうである。

(調査日 平成24年 1月 25日)



掲示板(表)



掲示板(裏)

※本書への情報の掲載を、像の所蔵者である鈴木洋一氏に了承を求めたところ、快諾していただいている。また、本書を見た方が訪問する可能性があることにも触れたが、この件についても、了解を得ている。訪問して像を見学するときは、挨拶などの礼儀を踏まえてからにさせていただきたいと思う。

【上士幌町】

〈上士幌町立上士幌小学校〉(東向き)



全体像



近影

◇建立日 昭和11年6月25日(町史・沿革史)

◇寄贈者 不明

◇像の高さ 約110cm

◇台座の高さ 約150cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等 ~ なし

◇所見・由来等

沿革史によると、上記の日に建立されていることは記されているが、寄贈や由来等に関わる情報の手がかりになるものは見当たらなかった。像は、さび止めと思われる赤褐色の塗料が塗ってあり、大切に保管されている様子が伺えた。駐車場をはさみ、校舎向かいの校庭の一角に佇んでいる。

(調査日 平成22年8月4日)

【鹿追町】

〈旧鹿追町立北鹿追小学校跡〉(南向き)



全体像



近影

◇建立日 昭和19年8月7日(除幕式、町史)

◇寄贈者 村岡寅雄(町史、沿革史では虎雄)

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約160cm

◇像の材質 陶器製

◇台座の文字等 ~ なし

◇所見・由来等

台座には、金次郎や報徳に関わる文字、寄贈や建立に関わる文字は見られなかった。台座は強固に作られ、像はグラウンド全体を見渡す小高い位置に建立されている。尚、町史によれば、台座は、奥秋博氏の寄贈となっている。

(調査日 平成22年8月17日)

〈鹿追町立瓜幕小学校〉(南向き)



全体像



台座正面

◇建立日 旧像 昭和14年12月15日(沿革史)

昭和14年12月25日(町史)

◇寄贈者 旧像 喜多村慎吾(町史・沿革史)

※現像の建立や寄贈などは不明である。

◇像の高さ 約60cm

◇台座の高さ 約190cm

◇像の材質 陶器製

◇台座の文字等

正面 ~ 報徳

裏面 ~ 判読不明の文字が記されている

◇所見・由来等

像は上半身像である。グラウンドを見渡せる一段高くなっている所に建立されている。材質(焼物)のためか、さほど風化は見られなかった。台座は、石を積み上げて作ってあるが、5m程離れた所に、像を留めておいたと思われる金具がむき出しになった台座が見られた。建立当初の台座とも推



台座裏面



近影



像の近くの台座(左奥)

測できるが、その根拠を示す表示物はない。尚、上記の建立日の2ヶ月程前に、報徳祭なるものが行われたと沿革史に記載されている。その詳細は不明であるが、縁の深さを感じさせる。また、現在の像の詳細についても、不明である。尚、町史と沿革史の建立日に相違が見られている。

(調査日 平成22年 8月 17日)

【新得町】

〈旧新得町立上佐幌小学校跡〉(南向き)



全体像



近影



昭和53年に開校70周年記念事業で建立された碑と一緒に佇んでいる

- ◇建立日 昭和53年9月15日(町史)
- ◇寄贈者 開校70周年記念事業協賛会(沿革史)
- ◇像の高さ 約90cm
- ◇台座の高さ 約105cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等 ~ なし
- ◇所見・由来等

開校70周年記念事業の一環として、昭和53年に建立されている。寄贈は、開校70周年記念事業協賛会で、同窓生や地域の人々の寄附金によって建立されている。像の横には、同じく開校70周年を記念して、記念碑も建立されている。

(調査日 平成22年 8月 26日)

〈旧新得町立佐幌小学校跡〉(北向き)



全体像



近影



台座側面



台座側面

- ◇建立日 旧像 昭和15年8月26日(沿革史)
昭和16年11月29日(献納、沿革史)
現像 昭和18年(除幕式、沿革史)
- ◇寄贈者 旧像 地域内有志(沿革史)
(建設委員長 石畑久成)
現像 不明
- ◇像の高さ 約105cm
- ◇台座の高さ 約145cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等
側面 ~ 多くの方の名が刻まれている
- ◇所見・由来等

開校80周年記念誌によると、紀元2600年を記念して、昭和15年に金次郎の銅像が建立されたと記されている。しかし、翌16年には、供出されている。現在の像は、その代替として昭和18年に建立されているが、詳細は不明である。尚、昭和59年に、現在の位置に移設されている。また、台座側面には、数多くの人々の名が記されているが、その理由や意味するところも不明である。

(調査日 平成22年 8月 26日)

※台座側面や裏面には、数多くの人々の名が刻まれているが、その詳細は不明である。

〈新得山新四国八十八ヶ所御水堂〉(東向き)



近影

台座には文字等は、
見られない



他の像と一緒に



- ◇ 建立日 不明
- ◇ 寄贈者 野尻イトの遺志を継いだ家族と関係者 (町史)

- ◇ 像の高さ 約 45cm
- ◇ 台座の高さ 約 30cm
- ◇ 像の材質 コンクリート製
- ◇ 台座の文字等 ~ なし
- ◇ 所見・由来等

新得山を巡る新四国八十八ヶ所順路の途中(新得山の中腹)に、湧き水の出ているところを祭った御水堂(別名「水大師」)がある。そこには、7体の像があり、その中の1体が金次郎像である。順路の途中には、個人の寄贈などによって、様々な像も設置されているが、それぞれの像には建立者の思いが込められているものと思われる。

(調査日 平成23年 7月28日)

【清水町】

〈旧清水町立下人舞小学校跡〉



モニュメント全体像



台座正面



台座側面(右)



台座裏面



台座側面(左)

- ◇ 建立日 昭和15年12月22日(沿革史)
- ◇ 寄贈者 成瀬傅吉 須田周吉 伊東助三郎(台座)
※上記は、かつて建立された金次郎像(沿革史)

- ◇ 像の高さ 像はなくモニュメント
- ◇ 台座の高さ 約160cm
- ◇ 像の材質 像はなし
- ◇ 台座の文字等

正面 ~ 報徳 久遠の碑
側面(右) ~ 卒業生と教職員名のプレート
側面(左) ~ 閉校記念のプレート
裏面 ~ 紀元二千六百年記念 成瀬傅吉 須田周吉 伊東助三郎

- ◇ 所見・由来等
- 金次郎像はなく、閉校を記念したモニュメントが台座の上に築かれている。台座正面には報徳の文字、裏面には建立年と寄贈者の名前が刻まれている。沿革史には、昭和15年に台座のみならず金次郎像の建立もなされたことや、その姿の写真も掲載されている。(調査日 平成22年 8月26日)

〈旧清水町立羽帯小学校跡〉(西向き)



全体像



台座正面

- ◇ 建立日 旧像 昭和14年(沿革史)
昭和16年(応召、沿革史)
現像 昭和18年10月30日(沿革史)
- ◇ 寄贈者 旧像 前羽帯産業組合員(沿革史)
※現像は不明である。

- ◇ 像の高さ 約110cm
- ◇ 台座の高さ 約190cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
正面 ~ 報徳

側面 ～ プレートの剥がれた跡

裏面 ～ プレートの剥がれた跡

◇所見・由来等

像は銅製で傷みは少ない。また、台座正面には、報徳の文字が大きく刻まれている。台座にはプレートを剥がした跡も見られるが、沿革史には、上記の建立や供出、寄贈者などが記されている。

(調査日 平成22年 8月26日)

〈旧清水町立上羽帯小学校跡〉(台座西向き)

写真はなく、資料のみ

◇建立日 昭和14年11月10日(除幕、沿革史)
昭和16年11月21日(壮行、沿革史)

◇寄贈者 農会長 竹田謙二 村議 坪井弥助
共同出資寄贈(沿革史)

◇像の高さ 像はなく台座のみ

◇台座の高さ 約200cm

◇像の材質 昭和16年に供出されていることを考えると、銅製だったと思われる

◇台座の文字等

正面 ～ 勤儉力行(題字は、北大星野勇三博士となっている。沿革史)

側面・裏面 ～ なし

◇所見・由来等

校門のすぐ近くに、金次郎像を建立していたと思われる台座が残っている。沿革史によると上記の建立日と寄贈者が記されている。学校跡は、現在清水町少年自然の家として活用されている。

(調査日 平成23年 7月28日)

【芽室町】

〈旧芽室町立北伏古小学校跡〉(東向き)



全体像



近影



プレート正面



プレート裏面

◇建立日 昭和14年7月(プレート)

昭和14年8月15日(沿革史)

◇寄贈者 山岸 清 岡部孫市 野原治三郎
吉田安次郎(沿革史・プレート)

◇像の高さ 約100cm

◇台座の高さ 約25cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ～ 二宮尊徳先生幼時之像 一木喜徳郎書

裏面 ～ 昭和十四年七月建立

寄贈者 山岸 清 岡部孫市 野原治三郎 吉田安次郎

◇所見・由来等

全体像の写真にあるように、像の横に石柱が立てられプレート等が貼られている。昭和14年建立の像が戦禍を逃れて、現在まで佇んでいるように思える。石柱の裏面には、寄贈者の名を記した石材も貼られていて、4名の方の寄贈であることが

分かる。 (調査日 平成22年 8月26日)

〈旧芽室町立明正小学校跡〉(南向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影



金次郎像横の「公德碑」

- ◇建立日 旧像 昭和13年9月5日(沿革史)
現像 昭和18年6月24日(沿革史)
- ◇寄贈者 旧像 同窓生有志 現像 同窓会有志
(沿革史)

- ◇像の高さ 約110cm
- ◇台座の高さ 約170cm
- ◇像の材質 陶器製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ~ 以德報德 一木喜徳郎書
 - 裏面 ~ 寄贈者や建立日などが刻まれているプレートもあったが、多くの文字は、正確に判読することは出来なかった。

◇所見・由来等
陶器の像で、傷みは少ないように感じられた。台座の裏面には、様々な情報が記載されていると思われる石材のプレートも埋め込まれているが、文字の多くは判読不明で、正確に読み取ることは出来ない。像の横には、「公德碑」と刻まれた碑も建立されていて、金次郎像との関わりも想起させるが、その碑の裏面に刻まれた文字も判読出来ず繋がりも解明することは出来なかった。尚、昭和13年に建立されたた像は供出されたものと思われる、現在の像はその代替である。いずれも同窓生(会)有志によって、寄贈されている。

(調査日 平成22年 9月30日)

〈芽室町立上美生小学校跡〉(西向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 昭和13年9月6日(台座)
- ◇寄贈者 榮前田榮作(台座)
- ◇像の高さ 約95cm
- ◇台座の高さ 約175cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ~ 二宮金次郎像
 - 裏面 ~ 創立三十周年記念
建立主宰
上美生尋常高等小学校同窓会
寄贈者 榮前田榮作殿
昭和十三年九月六日

◇所見・由来等
台座裏面に埋め込まれた陶器のプレートに記されている内容から、上美生小学校の創立30周年を記念し、榮前田榮作氏によって昭和13年に寄贈・建立されたことが分かる。像は銅製で、大戦の戦渦を逃れて建っているように思える。像は、パークゴルフ場の中にあるが、近くには上美生小学校

の創立記念碑や創立 30 周年記念碑、恩師の碑などもあり、学校の跡地であることが分かる。

(調査日 平成 22 年 9 月 30 日)

〈旧芽室町立西土狩小学校跡〉(西向き)



全体像



台座正面



近影



台座側面

◇ 建立日 昭和 28 年 1 月 20 日 (西土狩史)
昭和 28 年 7 月 (沿革史)

◇ 寄贈者 谷口権太郎 坂本浅吉 大丘與次郎
柴田多賀次郎 (西土狩史)

◇ 像の高さ 約 85cm

◇ 台座の高さ 約 120cm

◇ 像の材質 銅製

◇ 台座の文字等

正面 ~ 二宮金次郎像

側面 ~ 第 1 回卒業生 谷口権太郎 坂本浅吉 大丘與次郎

第 2 回卒業生 柴田多賀次郎

裏面 ~ 富山縣高岡市

株式会社 古城製作所謹製

◇ 所見・由来等

学校の沿革史や西土狩史によると、昭和 28 年に校舎の新築と体育館の落成が記されている。金次郎像の建立は、それを記念してのものと思われる。開校は明治 32 年であるが、その当時の卒業生による寄贈であることが伺える。像や台座は、真新しい感じを保持し、周囲には花壇の花が美しく咲いている。

(調査日 平成 22 年 8 月 26 日)

〈旧芽室町立祥栄小学校跡〉(西向き)



全体像



台座正面



近影



台座側面



台座側面

◇ 建立日 旧像 昭和 14 年 7 月 25 日 (沿革史)
現像 昭和 18 年 11 月 3 日 (沿革史)
昭和 56 年 11 月 改修 (記念誌)

◇ 寄贈者 大野連吉 (記念誌では、連一) 貴田喜作
柴田金作 北村義富 (台座・記念誌)

◇ 像の高さ 約 110cm

◇ 台座の高さ 約 200cm

◇ 像の材質 陶器製

◇ 台座の文字等

正面 ~ 以德報德 一木喜徳郎書

側面 ~ 寄贈 大野連吉 貴田喜作 (右) 柴田金作 北村義富

謹作者 高岡市 廣野市次郎

側面 ~ 大野久寿 貴田孝一 柴田英雄 (左) 尾藤精志 昭和五十六年十一月改修

◇ 所見・由来等

台座正面には、「以德報德」の文字が刻まれている。また、台座側面には、寄贈者と建立年月が記されているし、寄贈者の縁のある方々による改修の年も記されているが、建立の趣旨は、残されてなく不明で

※現存する金次郎像は陶器であるが、昭和 14 年に建立され

た時は銅製であった。尚、現在の像は昭和18年に再建立されたものである。(祥栄小学校沿革誌より判明)

ある。尚、寄贈者の一人である北村義富氏は、昭和11年6月4日に制定された祥栄小学校校歌の作詞・作曲者であり、昭和8年から昭和26年まで同校の第2代校長として務めた後、芽室町の教育長に就任している。尚、学校記念誌には、建立を昭和14年4月としているものもある。

(調査日 平成22年 8月26日)

〈旧芽室町立美生小学校跡〉(北向き)



全体像



近影

- ◇建立日 旧像 昭和13年11月17日(落成式)
昭和16年11月25日(献納)
- 現像 昭和18年7月23日(入魂式)
- (上記は、いずれも沿革史)

- ◇寄贈者 不明
- ◇像の高さ 約110cm
- ◇台座の高さ 約175cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等 ~ なし
- ◇所見・由来等

台座等には、像の建立年月や寄贈、報徳との関わりなどを表すものはなかったが、上記の建立日などは、沿革史により判明した。像は校門から少し離れた所に建立され、校舎やグラウンドが見渡せる場所に佇んでいる。(調査日 平成22年 9月30日)

〈芽室町立芽室小学校跡〉(北向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 昭和10年7月(除幕式、町史・沿革史)
- ◇寄贈者 山本外次郎(沿革史・台座)
- ◇像の高さ 約100cm
- ◇台座の高さ 約160cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
- 正面 ~ 以徳報徳 一木喜徳郎書
- 裏面 ~ 寄附 山本外次郎
- ◇所見・由来等

現在の中央公民館の駐車場の傍らに建っている。台座の裏面には、寄附者名を記したプレートが埋め込まれているが、台座の正面などには、報徳に関わりのある表示物はない。像には塗装が施され、大切に保管されているように感じた。尚、金次郎像の建っている中央公民館は、以前、芽室小学校のあった所であることから、同校に寄贈されたと思われる。また、沿革史には、建立年の6月に像の寄贈がなされたことが記されている。

(調査日 平成22年 9月30日)

〈旧芽室町立栄小学校跡〉(東向き)



全体像



近影

- ◇ 建立日 昭和 19 年 5 月 (沿革史)
- ◇ 寄贈者 不明
- ◇ 像の高さ 約 110cm
- ◇ 台座の高さ 約 90cm
- ◇ 像の材質 陶器製
- ◇ 台座の文字等 ~ なし
- ◇ 所見・由来等
台座には、報徳や金次郎像に関わりのあるプレート等はなかった。像は、校門を入った直ぐ近くに建立されていて、閉校前には児童の登下校を温かく見守っていただろうと思われる。
(調査日 平成 22 年 9 月 29 日)

【更別村】

〈JA さらべつ本所内〉



全体像



台座正面



近影

- ◇ 建立日 平成 19 年 3 月 30 日 (JA 担当者のお話)
- ◇ 寄贈者 更別村報徳社
- ◇ 像の高さ 約 110cm
- ◇ 台座の高さ 約 60cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
正面 ~ 二宮尊徳像
- ◇ 所見・由来等
JA さらべつ本所 2 階入口に建立されている。管内の金次郎像の中では、旧石坂小学校跡に建立された像に次いで、新しい像である。JA さらべつ職員担当者のお話では、更別村報徳社創立 20 周年を記念して建立されたとのことである。かつて全国に、千団体ほどあったと言われる報徳社である。各地の金次郎像の建立に大きな役割を果たしたことを推測させるものがある。
(調査日 平成 22 年 9 月 9 日)

【大樹町】

〈旧大樹町立石坂小学校校舎内・大樹町資料館内〉



全体像

- ◇ 建立日 旧像 昭和 15 年 11 月 21 日 (除幕式)
昭和 16 年 11 月 20 日 (お別れ会)
現像 昭和 23 年 9 月 4 日 (講迎会)
(上記はいずれも沿革史)
- ◇ 寄贈者 来海智一・茂 (旧像、現像とも)
- ◇ 像の高さ 約 115cm
- ◇ 台座の高さ 台座なし
- ◇ 像の材質 陶器製
- ◇ 台座の文字等
正面、側面、裏面 ~ なし
- ◇ 所見・由来等
旧石坂小学校の閉校記念に建立された金次郎像の裏面のプレートには、戦時中に供出した銅像に代わるものとして、戦後陶器のものが贈られたとの

記録がある。寄贈者は、旧像と同じく来海智一・茂氏であり、現像は、旧像が供出されたことを思いで再寄贈された。（調査日 平成22年 9月 9日）

〈旧大樹町立石坂小学校跡〉（南向き）



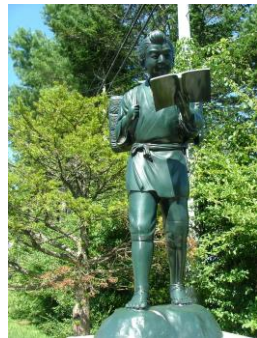
全体像



台座正面



台座裏面のプレート



近影

- ◇ 建立日 平成21年2月14日（台座）
- ◇ 寄贈者 石坂小学校閉校記念事業協賛会（台座）
- ◇ 像の高さ 約110cm
- ◇ 台座の高さ 約115cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
 - 正面 ～ 報徳 大樹町立石坂小学校
 - 裏面 ～ 閉校記念のプレート

◇ 所見・由来等
 学校の閉校を記念して建立されたことが、台座裏面のプレートに記されている。それによると、金次郎像は時代の流れに翻弄されたこともあるが、児童を温かく見守っていたことや現在地に学校の存在したことを記し、学校を懐び先人の労苦に報いる心を受継ぐ証として建立したとの旨が記されている。尚、台座は、旧像が建立されていたものに化粧を施したものであり、刻まれている報徳の文字は、その当時のものである。

（調査日 平成22年 9月 9日）

【広尾町】

〈広尾町立豊似小学校〉（北向き）



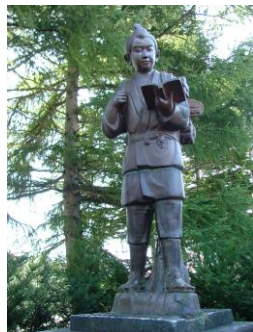
全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇ 建立日 旧像 昭和15年11月23日（除幕式）
 昭和16年11月22日（供出）
 現像 昭和18年11月17日（再寄贈）
 （上記はいずれも町史・郷土史・沿革史）

- ◇ 寄贈者 来海邦衛（旧像と現像とも）
- ◇ 像の高さ 約105cm
- ◇ 台座の高さ 約150cm
- ◇ 像の材質 陶器製
- ◇ 台座の文字等
 - 正面 ～ 徳報
 - 裏面 ～ 年百六千二元紀 立建家海来

◇ 所見・由来等
 旧像は昭和15年建立されたが、翌年に供出された。現像は、校門入口にあり、周囲はイチイの木々で囲まれ、落ち着いた雰囲気の中に佇んでいる。台座裏面には、来海家の建立である旨を刻んだ石材が埋め込まれている。郷土史によれば、旧像は、紋別原野に13戸の団体長として入植した来海宇平一族によって広尾や大樹の小学校に寄贈された像の一体であると記されている。尚、学校沿革史では、旧・現像とも来海邦衛氏の寄贈であると記されている。（調査日 平成22年 9月 9日）

【幕別町】

〈十勝ヒルズ内〉(西向き)



全体像

- ◇建立日 平成17年6月
- ◇寄贈者 十勝ヒルズ社長(建立?)
- ◇像の高さ 約90cm
- ◇台座の高さ 台座なし
- ◇像の材質 陶器製
- ◇台座の文字等 ~ なし
- ◇所見・由来等
台座等は特になく、報徳の関わりを記し金次郎像であることを示すものも見当たらなかった。十勝ヒルズの店舗(そば屋)入口の門の横に、様々な草木に囲まれて佇んでいる。従業員の方によると、社長さんが建立したとの話しも聞かれたが、詳細は不明である。(調査日 平成22年9月30日)

〈幕別町立古舞小学校〉(南向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 旧像 昭和10年10月18日
昭和16年12月18日(訣別式)
(上記はいずれも沿革史、現像は不明)
- ◇寄贈者 不明
- ◇像の高さ 約90cm
- ◇台座の高さ 約150cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等
正面 ~ 報徳
裏面 ~ 平成十七年五月改修
古舞小学校開校百周年記念事業協賛会
- ◇所見・由来等
現像の建立日や寄贈、由来などは、不明である。台座裏面のプレートには、平成17年に開校百周年を記念して改修したことが記されている。校舎玄関前で池のある庭の落ち着いた雰囲気の中に、開校五十周年記念碑などとともに佇んでいる。(調査日 平成22年9月9日)

〈旧幕別町立南勢小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面

- ◇建立日 昭和10年10月(台座)
- ◇寄贈者 小野九平 同 たま(寄附者、台座)
- ◇像の高さ 約90cm
- ◇台座の高さ 約130cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等
正面 ~ 以德報徳 一木喜徳郎書
裏面 ~ 昭和十年十月
寄附者 小野九平 同 たま
- ◇所見・由来等
台座正面には以德報徳、裏面には建立年月と寄附



台座裏面



近 影

者名の記されたプレートが埋め込まれている。昭和10年の建立とあるが、当時のままの姿を留めて佇んでいるように感じられるが、戦前・戦中に建立された管内の多くの銅像は、金属類回収令により供出されていることから、この像が当初からコンクリート製であったかは、不明である。

(調査日 平成22年 9月29日)

〈幕別町立途別小学校跡〉(東向き)



全 体 像



近 影

◇建立日 昭和10年10月(沿革史)

◇寄贈者 横山平兵衛(寄附者、沿革史)

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約170cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

裏面 ~ 昭和十年十月建立

寄附者 横山平兵衛

◇所見・由来等

金次郎像が建立されているパークゴルフ場は、以前途別小学校が建っていた場所である。校舎を新築移転した後、跡地はパークゴルフ場として整備され、現在に至っている。この経緯を考えると、像を寄附した横山平兵衛氏は、途別小学校に像を寄附したものと思われる。金次郎像は、移転されずに残ったままであるが、かつては多くの児童に手本の姿として仰ぎ見られたことだと思う。

(調査日 平成22年 9月30日)



台座裏面

〈幕別町立幕別小学校〉(南向き)



全 体 像



近 影

◇建立日 不明

◇寄贈者 像 小尾寅平 台 佐藤富士雄(台座)

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約120cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ~ 像 小尾寅平 台 佐藤富士雄

◇所見・由来等

像の周囲に白樺の木々が茂る校庭の一角に佇んでいる。建立日は不明であるが、寄贈者は台座正面のプレートに記されている。像は、幕別小学校の歴史の重さを感じさせるように建っている。卒業生の方の話によると、旧校舎にあった像を、校舎の移転とともに、現在の場所に移設したとのことであるが、真偽は、不明である。

(調査日 平成22年10月13日)



台座正面

〈旧幕別町立相川小学校跡〉



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 昭和18年9月(台座)
昭和19年2月(沿革史)
- ◇寄贈者 不明
- ◇像の高さ 約110cm
- ◇台座の高さ 約140cm
- ◇像の材質 コンクリート製
- ◇台座の文字等
正面 ~ (判読不明2文字と) 報徳
裏面 ~ 寄贈者13名の氏名 昭和十八年九月
- ◇所見・由来等
台座裏面に寄贈者13名の氏名と建立年月が記されたプレートが埋め込まれている。像は、玄関前の大木の下に、静かに佇んでいる。建立以来の姿で建っていると思われるが、像も台座も傷みは少ない。尚、台座と沿革史では、建立の年月に相違が見られる。(調査日 平成22年10月13日)

【池田町】

〈旧池田町立大森小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面



台座裏面



台座側面は、寄贈者名と寄贈年月日が記されている

- ◇建立日 旧像 昭和12年4月梵日(台座)
昭和13年8月(大森史)
昭和12年(沿革史)
現像 昭和53年6月1日(沿革史)
昭和53年9月15日(台座)
- ◇寄贈者 八千代曾(旧像・現像とも、沿革史)
現像 高橋義一 小林英徳 北山正樹 森田 驍
泉田賢一 小林 仁 角谷美就(大森史・台座)
- ◇像の高さ 約70cm
- ◇台座の高さ 約125cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
正面 ~ 寄贈 八千代曾
昭和十二年四月梵(?)日
側面 ~ 寄贈者名と寄贈年月日が記されている
裏面 ~ 至誠力行
- ◇所見・由来等
像の周りに木々が生え、趣のある佇まいである。台座裏面には至誠力行と記されていて、四綱領の中でも至誠と実行を重視した教えが行われていたと思われる。八千代曾とは、25歳以上の青年団に入れない人により組織され、後に地域の発展に大きく寄与する大森実践会の母体となった団体である。尚、「大森開拓80年史」や学校沿革史によると、旧像・現像とも八千代曾の寄贈であることが記されている。(調査日 平成22年6月8日)

〈旧池田町立青山小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面

- ◇ 建立日 旧像 昭和11年11月15日
昭和16年11月21日(供出)
- 現像 昭和27年7月18日
昭和27年10月3日(入魂式)
- ◇ 寄贈者 旧像 池田町在郷軍人第3班
現像 水上専十郎
(上記はいずれも沿革史)

- ◇ 像の高さ 約 90cm
- ◇ 台座の高さ 約 125cm
- ◇ 像の材質 陶器製
- ◇ 台座の文字等
正面 ~ 至誠力行
裏面 ~ 文字らしきものはあるが、判読不明
- ◇ 所見・由来等
本をもつ左手の手首から先が欠損している。台座正面の「至誠力行」の文字が、建立者の思いを伝えているように感じる。

(調査日 平成22年 6月 8日)

〈池田町立池田小学校〉(北向き)



全体像



台座正面

- ◇ 建立日 昭和11年6月9日(除幕式、沿革史)
- ◇ 寄贈者 那須正夫(町史)
- ◇ 像の高さ 約 100cm
- ◇ 台座の高さ 約 150cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字
正面 ~ 以德報徳 一木喜徳郎書

- ◇ 所見・由来等
池田町史によると、池田小学校に那須正夫氏から金次郎像の寄贈があったことが記されている。しかし、由来等の詳細は、現時点では不明である。

(調査日 平成22年 6月 8日)

【豊頃町】

〈豊頃町二宮構造改善センター内〉



全体像



近影

- ◇ 建立日 昭和30年6月16日(台座)
- ◇ 寄贈者 牛首別報徳会 報徳校PTA(台座)
- ◇ 像の高さ 約 110cm
- ◇ 台座の高さ 約 120cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
正面 ~ 以德報徳 一木喜徳郎書
側面 ~ 二宮尊徳翁百年祭 開校五十周年記念
(左) 牛首別報徳会 報徳校PTA
昭和三十年六月十六日
側面 ~ 移設 二宮小学校百周年・閉校事業協
(右) 賛会 平成十四年五月吉日
- ◇ 所見・由来等
以前、旧報徳小学校に建立されていた像を、二宮



台座正面



台座側面



台座側面

小学校百周年と報徳小学校閉校記念事業の一環として、構造改善センター内に移設されたものである。台座は移設時に作られたものであるが、正面と左面のプレートは、建立時のものである。報徳会があり尊徳の縁の地で、地域の人々に大切にされている。（調査日 平成22年10月21日）

〈豊頃町える夢館前〉（北東向き）



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 不明（平成14年える夢館前に移設）
- ◇寄贈者 像 佐藤義助 台 菅原春見（台座）
- ◇像の高さ 約 60cm
- ◇台座の高さ 約 150cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ~ 以德報徳
 - 裏面 ~ 寄贈者 像 佐藤義助 台 菅原春見
- ◇所見・由来等

像を寄贈した佐藤義助氏は豊頃村長を務めた方であり、建立当時の台座を寄贈した菅原春見氏は豊頃町長を務めた方である。像は、当初、役場庁舎横の福祉センター前に建立されていたが、生涯学習施設「える夢館」が建設された時に、その玄関前に移設されたものである。尚、台座は移設にもなって、新設されたものである。台座裏面のプレートは、建立当時のものが貼り付けてある。

（調査日 平成22年10月21日）

〈豊頃町立豊頃中学校内〉（南向き）



全体像



近影



台座正面



台座(左)

- ◇建立日 平成23年8月2日（報徳館から移設）
- ◇貸与者 二宮小学校閉校協賛会
- ◇像の高さ 約 110cm
- ◇台座の高さ 約 125cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ~ 以德報徳 一木喜徳郎書
 - 側面 ~ ○二宮尊徳翁百年祭記念
 - （左） 牛首別報徳会 二宮校PTA
 - 昭和三十年七月二十九日建之
 - 昭和五十年五月移設
 - 牛首別報徳会 佐藤信次郎 PTA役員有志
 - 側面 ~ ○移設 二宮小学校百周年・閉校事業協賛会
 - （右） 平成十四年五月吉日
 - 移設 豊頃中学校は 二宮小学校閉校協賛会から貸与により移設した
 - 平成23年8月吉日
- ◇所見・由来等



台座(右)

牛首別報徳会のある二宮地区の二つの小学校(旧報徳小学校、旧二宮小学校)に、ほぼ同時期に建立された像の1体である。小学校は、両校とも閉校したが、像はそれぞれ豊頃中学校と二宮構造改善センターに大切に再建立されている。尚、豊頃中学校の像は、報徳の教育に金次郎像は欠かすことはできないとのことから、要望して貸与を受けるに至った。

(調査日 平成23年12月19日)

〈旧豊頃町立茂岩小学校跡〉(南向き)



全体像



台座正面



台座側面



台座裏面



近影

◇建立日 旧像 昭和12年10月21日(沿革史)

現像 昭和28年12月5日(沿革史)

台座新設 昭和58年11月

平成16年5月12日(像補修)

◇寄贈者 旧像 杉村末太郎 杉村春美
校長鈴木徳助 (台座)

現像 杉村昌夫(沿革史)

台座新設 杉村昌夫 ヒデ

◇像の高さ 約115cm

◇台座の高さ 約125cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 以徳報徳 一木喜徳郎書

側面 ~ 新校舎落成記念台座新設

贈 杉村昌夫 ヒデ

昭和五十八年十一月

裏面 ~ 寄附者 杉村末太郎 杉村春美 校長
鈴木徳助 昭和十二年七月

◇所見・由来等

昭和12年に建立された像は戦時中に供出され、現像は昭和28年に新しく建立されたものである。昭和58年には台座も新設されているが、正面と裏面のプレートは、建立当初のものだと思われる。像建立時の寄贈者である杉村末太郎氏は、現像の建立と台座を新設した杉村昌夫・ヒデ氏の父(杉村春美氏は、昌夫氏の妹)であり、親子二代にわたって金次郎像の寄贈と建立に関わっている。

(調査日 平成22年10月21日)

〈豊頃町立豊頃小学校〉(東向き)



全体像



台座正面

◇建立日 旧像 昭和12年7月3日

現像 昭和55年11月23日

◇寄贈者 旧像 内藤武助

現像 内藤みどり 安藤文逸 小川信吉

山岸利雄

(上記はいずれも台座プレート碑文)

◇像の高さ 約95cm

◇台座の高さ 約150cm

◇像の材質 銅製



台座裏面



近影

◇台座の文字等

正面 ～ 二宮尊徳先生勤勉之像

裏面 ～ 平成3年像移設に関わる長瀬町長の碑文が、プレートとして埋められている。

◇所見・由来等

台座裏面のプレートの碑文によると、昭和12年に内藤武助氏の寄贈で、旧豊頃小学校校庭の一角に建立された。しかし、昭和16年の国策により像を供出。その後、内藤武助氏の遺志を継いだ内藤みどり氏他三氏の寄贈により、現在の像が昭和55年に建立された。尚、平成3年に豊頃小学校の新築移転とともに、像も現在地に移設された。

(調査日 平成22年10月21日)

〈旧豊頃町立統内小学校跡〉(南向き)



全体像



近影

◇建立日 昭和39年7月19日(沿革史)

◇寄贈者 中島工(台座)

◇像の高さ 約 60cm

◇台座の高さ 約 125cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

裏面 ～ 昭和39年7月建之 寄贈 中島工

◇所見・由来等

小柄な像と台座がひっそりと佇んでいる。建立は、沿革史から、昭和39年7月19日であることが分かる。像の横には、開校80周年を記念する碑も建立されている。建立の由来は不明であるが、昭和39年9月には、校舎新築落成式が行われている。

(調査日 平成22年10月13日)



台座裏面

〈豊頃町教育委員会・教育長室〉



陶器の金次郎像2体

◇建立日 平成22年10月23日

◇寄贈者 佐藤慶子

◇像の高さ 約 10.5cm(右像)

約 11.5cm(左像)

◇台座の高さ 台座なし

◇像の材質 陶器製

◇所見・由来等

教育委員会教育長室の入口に置かれた2体の金次郎像は、町内在住の陶芸家佐藤慶子氏の寄贈によるものである。町(教委)で進めている「報徳のおしえ」の施策に感銘しての寄贈である。2体の金次郎像は、どちらも細部にわたり丁寧に作られ、幼さの残る童顔の表情は、牧歌的で親しみを感じる。尚、佐藤慶子氏は、教委が開設した陶芸教室の第一期生で、管内各地で陶芸活動をしている方である。

(調査日 平成22年12月16日)

【浦幌町】

〈旧浦幌町立留真小学校跡〉（東向き）



全体像



台座正面



台座側面



台座裏面

◇建立日 旧像 昭和15年9月27日（沿革史）
現像 昭和51年（町百年史）

◇寄贈者 旧像 岡本喜市（沿革史）
現像 岡本秋雄（沿革史）

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約200cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ～ 報徳

側面 ～ 以徳報徳

裏面 ～ 紀元二千六百年記念

岡本喜市

◇所見・由来等

学校の閉校後も金次郎像は残り、大切に保存されている。建立年は、台座裏面に紀元二千六百年記念と記されていることや沿革史から、昭和15年と分かる。留真小学校開校70周年記念誌によると、岡本喜市氏寄贈の像が、戦時中に供出されたので、喜市氏の息子さんである秋雄氏が、再寄贈して現在に至っている。再建立は、昭和51年と町百年史に記されている。

（調査日 平成22年 6月 8日）

〈旧浦幌町立活平小学校跡〉（西向き）



全体像



台座正面



台座裏面

◇建立日 昭和15年7月10日（沿革史）

◇寄贈者 朝日 昇（町百年史・沿革史）

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約180cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ～ 報徳

裏面 ～ 紀元二千六百年記念

◇所見・由来等

台座正面の「報徳」の文字が似ていることと台座裏面の「紀元二千六百年記念」の文字から、旧留真小学校と同じ時期に建立されたものと推測できる。また、台座には、寄贈者の名前等は記されていないが、浦幌町百年史に、寄贈者として朝日 昇氏の名前が記載されている。朝日 昇氏は、道議会議員や道畜産会などの団体の役職を務め、本道の農業や漁業の振興に大きな功績を残した方である。尚、像は、コンクリート製であり、当初から現像が寄贈されたものと思われる。

（調査日 平成22年 6月 8日）

〈浦幌町立上浦幌中学校内〉



磁器の金次郎像

- ◇ 建立日（設置日・寄贈日） 不明
- ◇ 寄贈者 不明
- ◇ 像の高さ 約 30cm
- ◇ 台座 なし
- ◇ 像の材質 磁器製
- ◇ 所見・由来等

磁器による金次郎像は、大変珍しい。像の大きさはおよそ30cmと小さいが、ほのぼのとした温かさを感じる像である。寄贈に関わる由来等は、現時点で不明である。（調査日 平成22年 6月 8日）

〈旧浦幌町立上浦幌小学校跡〉（西向き）



全体像



台座正面



台座裏面



台座（正面）基礎部分の
閉校記念プレート

- ◇ 建立日 昭和13年（町百年史）
- ◇ 寄贈者 不明
- ◇ 像の高さ 約 90cm
- ◇ 台座の高さ 約 185cm
- ◇ 像の材質 コンクリート製
- ◇ 台座の文字等

正面 ～ 二宮尊徳先生幼時之像
子爵 齊藤 實書

台座（正面）基礎部分のプレート
～ 2010.2.21

ふる里の心
中村厚喜夫書

裏面 ～ 昭和十三年

- ◇ 所見・由来等

閉校記念のプレートや児童の手形などが台座に残されている。当初の建立は、昭和13年と思われる。その後、何らかの理由で撤去・保管されたが、戦後新たに建立されたようである。閉校記念事業の一環として、台座等も大幅に修復された。

（調査日 平成22年 6月 8日）

〈旧浦幌町立十勝小学校跡〉

写真はなく、資料のみ

- ◇ 建立日 昭和17年5月1日（博物館報告）
- ◇ 寄贈者 渡邊長吉（百年史）
- ◇ 像の高さ 像はなし
- ◇ 台座の高さ 約 200cm
- ◇ 台座の文字等

正面 ～ 至誠報徳

側面 ～ 昭和十七年五月一日建設
寄贈者 渡邊長吉

- ◇ 所見・由来等

金次郎像はなかったが、台座に残る「至誠報徳」の文字から、その像が存在していたことが伺える。浦幌町百年史によると、昭和17年に寄贈者の渡邊長吉氏が戦死した息子さん（栄一氏）を偲んで

建立したことが記されている。尚、台座の部分は、地域住民の出役奉仕によって作られたことも記されている。（調査日 平成22年 6月15日）

【本別町】

〈本別町立仙美里小学校〉（西向き）



全体像



台座正面



台座側面



台座正面(二段目)

◇建立日 昭和27年6月3日（沿革史）
平成13年11月25日（再建立、台座）

◇寄贈者 不明

◇像の高さ 約85cm

◇台座の高さ 約175cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ～ 仙美里小学校開校100周年記念

磨け知・徳・体

第二十三代校長 工藤雅史著

平成13年11月25日

二宮金次郎之像（像直下の台座）

側面・裏面 ～ 台座の側面・裏面は、周年事業の記念碑らしく児童の言葉と名前が刻まれている。

◇所見・由来等

金次郎像は、校舎内に保管されていたものを、周年行事に合わせて再建立したとのことである。当初の建立は、昭和27年であるが、様々な時代の経過を経て、現在の姿でそびえ建っていることを考えると、尊徳のおしえへの思いが伝わってくるようである。（調査日 平成22年 7月23日）

〈本別町立本別中央小学校〉（東向き）



全体像



台座正面



台座裏面



台座側面には、再寄贈時の由来が記されている

◇建立日 旧像 昭和12年（沿革史）

現像 昭和29年（再寄贈、沿革史）

昭和54年（再建立、沿革史）

◇寄贈者 旧像 方川浅太郎

現像 方川新一 泰一 みや子 三郎

◇像の高さ 約120cm

◇台座の高さ 約180cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ～ 報徳

側面 ～ 寄贈者の縁を示す文字が記されている

裏面 ～ 昭和13年の寄付者の名前が記されている

◇所見・由来等

昭和12年に方川浅太郎氏により像が寄贈され、翌13年建立されているが、戦時中の昭和20年に供出されている。そのため昭和29年に浅太郎氏の親族である方川新一氏等により、再寄贈され本別小学校に建立された。しかし、学校統合など

による校舎移転にともない取り外され、現中央小学校校舎内に保管されていたところ、昭和54年に新しく同像が建立され、現在に至っている。

(調査日 平成22年 6月 8日)

〈旧本別町立下美里別小学校跡〉(南向き)



全体像



台座正面



台座裏面
移設した建設会社名が記されている

◇建立日 旧像 昭和12年12月5日(沿革史)
現像 不明

◇寄贈者 旧像方川浅次郎(沿革史)、現像は不明

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約110cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳幼時之像

裏面 ~ 移設者名(会社名)

◇所見・由来等

下美里別小学校の学校統合記念誌「67年の歩み」には、昭和12年に方川浅次郎氏の寄贈による金次郎像の除幕式が挙行されたと記されている。その後、供出されたと思われる。現像は戦後に再建立されたそうだが、真偽や詳細は不明である。尚、像とその周囲は、整備された環境であった。閉校記念碑と併設されていて、その碑には、昭和45年3月建立と記されていることから、それに併せて移設したものと推測もできるが、これも真偽は不明である。

(調査日 平成22年 7月23日)

【帯広市】

〈帯広市立川西小学校〉(南向き)



全体像



近影



台座正面



台座裏面

◇建立日 昭和10年7月15日(台座)

◇寄贈者 森長太郎(台座)

◇像の高さ 約85cm

◇台座の高さ 約155cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳先生幼時之像

子爵 齋藤 實書

裏面 ~ 川西村 森長太郎

昭和拾年七月拾五日建之

◇所見・由来等

昭和16年の金属類回収令により、管内の多くの銅製の金次郎像は供出された経緯がある。したがって現存する像は、再建立されたものが多い。川西小学校の像は、どのような経緯で現存しているのかは、沿革史などにも記述がなく不明である。尚、像の左手に持つ書物の表紙には、大学の文字が見られる。また、像と台座は、風化などの傷みも少なく、よく保存されているように思われる。児童玄関と向かい合う位置に建立されている。

(調査日 平成22年 9月 9日)

〈帯広市立広野小学校〉（東向き）



全体像



近影



台座正面
木製のプレート



台座裏面

- ◇建立日 昭和32年2月（台座）
- ◇寄贈者 竹市一巳 八代さかゑ 奥羽 清（台座）
- ◇像の高さ 約 90cm
- ◇台座の高さ 約 150cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ～ 報徳
 - 裏面 ～ 開校五十周年記念
贈 竹市一巳 八代さかゑ 奥羽 清
昭和32年2月

◇所見・由来等

ヒバの垣根の間に、児童玄関を見渡すような位置に建立されている。台座裏面のプレートに記されている文字を見ると、広野小学校の開校50周年を記念して、竹市一巳氏他2名により寄贈されたことが伺える。建立も、記されているように昭和32年だと思われる。像や台座は、多少の傷みは見られるものの、建立以来半世紀以上も佇んでいることになる。尚、台座正面のプレートは、木製である。

（調査日 平成22年 9月 9日）

〈帯広市立八千代中学校〉（東向き）



全体像



近影



台座正面



台座裏面

- ◇建立日 昭和32年6月吉日（台座）
- ◇寄贈者 教育振興会一同（台座）
- ◇像の高さ 約 95cm
- ◇台座の高さ 約 135cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ～ 報徳
 - 裏面 ～ 贈 八千代中学校開校満五周年記念
教育振興会一同
昭和32年6月吉日

◇所見・由来等

台座裏面のプレートを見ると、八千代中学校の開校5周年を記念して、教育振興会から昭和32年6月に贈られたものであることが分かる。像は、校門から少し入った庭園の芝生の上に建立されている。尚、教育振興会とは、誰がどの様な目的で組織したものかは、不明である。近くの広野小学校の金次郎像も、寄贈者は違うものの昭和32年の建立となっている。何らかの因果を感じるが、詳細を記すものはなく、その関連も不明である。

（調査日 平成22年 9月 9日）

〈帯広市立明星小学校〉

写真はなく、資料のみ

- ◇ 建立日 不明
- ◇ 寄贈者 不明
- ◇ 像の高さ 像はなく、台座のみ
- ◇ 台座の高さ 約 170cm
- ◇ 台座の文字等
 - 正面 ～ 報徳
- ◇ 所見・由来等
 - かつて金次郎像が存在したことは、台座正面の報徳の文字から推測できる。学校の話では、金次郎像は数年前に撤去したとのことである。

(調査日 平成 22 年 10 月 13 日)

〈旧帯広市立桜木小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇ 建立日 昭和 31 年 6 月 7 日 (沿革史)
- ◇ 寄贈者 以平地区同窓生一同 (台座)
- ◇ 像の高さ 約 90cm
- ◇ 台座の高さ 約 140cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
 - 正面 ～ 二宮金次郎像
 - 裏面 ～ 開校五十周年記念
以平地区同窓生一同
- ◇ 所見・由来等
 - 台座裏面に埋め込まれたプレートにより、桜木小学校の開校 50 周年を記念して、以平地区に住む同窓生一同によって建立されたことが分かる。桜木小学校の開校は明治 38 年であることは帯広市教委の協力で確認出来ている。開校 50 周年は、昭和 30 年にあたる。尚、この年に周年の記念式典なども行われていることも確認できている。金次郎像は、翌年に建立されたようである。

(調査日 平成 22 年 9 月 29 日)

〈旧帯広市立富士小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面

- ◇ 建立日 旧像 昭和 13 年 9 月 (沿革史)
- 昭和 13 年 10 月 (台座)
- 昭和 16 年 (解体回収、沿革史)
- 現像 昭和 29 年 2 月 8 日 (沿革史)
- ◇ 寄贈者 旧贈 藤本孫右衛門 (台座)
- 藤本長蔵 (閉校記念誌)
- 現像 東富士土地改良組合 (沿革史)
- ◇ 像の高さ 約 90cm
- ◇ 台座の高さ 約 180cm
- ◇ 像の材質 銅製
- ◇ 台座の文字等
 - 正面 ～ 二宮尊徳先生幼時之像



台座裏面



近影

子爵 齋藤 實書

裏面 ～ 建設者 藤本孫右衛門

昭和十三年十月

銅像再建 昭和二十九年二月八日

東富士土地改良組合

◇所見・由来等

建設者と建立年月、再建者と年月日が、台座裏面に埋め込まれたプレートや沿革史により、明らかになっているが、日付や寄贈者に相違も見られる。像と台座は大きな風化の跡も見られず、グラウンドを見渡すように佇んでいて、学校の跡地に建てられた保育所の園児を見守っているようである。

(調査日 平成 22 年 9 月 29 日)

〈旧帯広市立上帯広中学校跡〉

写真はなく、資料のみ

◇建立日 昭和 30 年 6 月 6 日 (沿革史)

◇寄贈者 市之川新松 市之川正一 清水大三郎

夷石 勝 (沿革史)

※プレートには、市之川新松 正二となっている

◇像の高さ 像はなく、台座のみ

◇台座の高さ 約 155cm

◇台座の文字等

正面 ～ 二宮尊徳幼時之像

裏面 ～ 寄贈 市之川新松 正二

昭和三十年六月

◇所見・由来等

像はなく、台座のみが残っている。台座正面のプレートに記されている「二宮尊徳幼時之像」の文言から、かつて金次郎像があったことが伺える。尚、上記したように、プレートと沿革史の記述が異なる部分も見られている。

(調査日 平成 22 年 9 月 29 日)

〈帯広市立大正小学校跡〉

写真はなく、資料のみ

◇建立日 不明

◇寄贈者 不明

◇像の高さ 像はなく、台座のみ

◇台座の高さ 約 135cm

◇台座の文字等

正面 ～ 二宮尊徳先生幼時之像

子爵 齋藤 實書

◇所見・由来等

大正小学校跡は、現在帯広市役所大正支所が建てられている。像はなく台座のみとなっているが、台座正面の文字（二宮尊徳先生幼時之像）が、かつて金次郎像が存在したことの証となっている。

(調査日 平成 22 年 9 月 9 日)

〈旧帯広市立上帯広小学校跡〉(東向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

◇建立日 旧像 昭和16年7月2日(除幕式)
昭和17年10月30日(供出)
現像 昭和30年6月1日
(上記は、いずれも沿革史)

◇寄贈者 旧像 不明
現像 山口誠一

※閉校記念誌では、山口氏の寄贈は、「二宮銅像基礎一基寄贈」となっている。

◇像の高さ 約90cm

◇台座の高さ 約150cm

◇像の材質 コンクリート製

◇台座の文字等

正面 ~ 報徳

裏面 ~ 石材のプレートが埋め込まれて部分的に幾つかの文字は読み取れるが、全体は判読不明

◇所見・由来等

金次郎像に関わる多くの情報が含まれていると思われる台座裏面の石材プレートに記されている文字が、判読できず残念である。金次郎像の建立されている一角には、上帯広小学校の閉校を記念する碑もある。金次郎像と閉校記念碑の前には花壇もあり、地域の人々によって、大切に管理されているように感じる。

(調査日 平成22年9月29日)

〈帯広市立帯広小学校〉(北向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

◇建立日 昭和9年11月3日(台座)

◇寄贈者 中島武市 建立(台座)

◇像の高さ 約115cm

◇台座の高さ 約175cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 報徳

裏面 ~ 題字 村瀬岩尾書
帯広市 中島武市 建立
昭和九年十一月三日

◇所見・由来等

校地南東端の一角に佇んでいる。台座裏面に埋め込まれたプレートに、建立年月日と建立者が記されている。像は銅製で傷みは少なく、趣のある重厚さを感じさせる像である。尚、開校90周年記念史には、「勉学のシンボル 二宮金次郎銅像」として写真も掲載されているが、他の詳細な記述は記されていない。

(調査日 平成22年10月13日)

〈帯広市立帯広第一中学校〉(南向き)



全体像



台座正面



台座裏面



近影

※帯広小学校と帯広第一中学校(旧啓北国民学校)に金次郎像を寄贈した中島武市氏は、帯広市議会議長や帯広商工会議所会頭などの要職を務めた方で、帯広神社の国道を隔てた向かいにある中島公園を作り、依田勉三像も建立している。尚、歌手中島みゆき氏の祖父である。

◇建立日 旧像 昭和11年9月 行幸秋(台座)
昭和11年5月4日(沿革史)
現像 昭和29年5月15日(沿革史)

◇寄贈者 旧像・現像とも 中島武市

◇像の高さ 約115cm

◇台座の高さ 約140cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳先生幼時之像
子爵 齋藤 實書

裏面 ~ 帯広市啓北高等小学校長 従七位 三ッ谷三蔵氏の書による建立の趣旨を記したプレートが埋め込まれている

◇所見・由来等

台座裏面のプレートに記された建立の趣旨によると、金次郎像を徳育などに活かすことを願って建立されたことや、その趣旨を踏まえて勉学に励むようにとする旨が記されている。多くの像は、このような願いをもって建立されたと推測される。啓北高等小学校は、第一中学校の前身であることから、中島氏は学校が変わっても、その両方に寄贈したことになる。尚、第一中学校では、毎年、金次郎像と台座を清掃する事業が、PTAによって行われている。(調査日 平成22年10月13日)

二宮尊徳像の調査・研究

〈二宮報徳館内・旧豊頃町立二宮小学校校舎内〉



全体像

◇建立日 昭和62年 4月

◇寄贈者 大林・鈴木・北越共同企業体
(二宮小学校を新築した建築会社)
〈像を入れているケースの寄贈者
菅野正一 保科保男 武野温恭〉

◇像の高さ 約182cm(等身大)

◇台座の高さ 台座なし

◇像の材質 合成樹脂(?)

◇所見・由来等

二宮小学校を新築した折りに、建築に関わった企業体から、記念として尊徳像の寄贈を受けたものである。像は、長く二宮小学校の玄関正面に置かれ、登下校する児童を見守ってきた。現在は、二宮報徳館として開館している旧校舎の中に、他の資料とともに展示されている。尚、像のケースは、当時のPTA役員が寄贈したものである。

(調査日 平成22年10月21日)

〈豊頃町役場前〉（北東向き）



全体像



尊徳像横碑正面



尊徳像横碑裏面



近影

◇建立日 昭和63年7月29日

◇寄贈者等 寄贈者 小田原市前川 田嶋 享

製作者 小田原市中里 横田 七郎

建立者 豊頃町長 小野木徳治

（上記は、いずれも台座）

◇像の高さ 約182cm

◇台座の高さ 約17cm

◇像の材質 銅製

◇像に近接する碑の文字等

正面 ~ むかし蒔く木の実 大木となりにつけり
今蒔く木の実 後の大木ぞ

曾孫 二宮四郎書

裏面 ~ 二宮尊徳廻村之像碑文が記されている

◇所見・由来等

碑正面の歌は、尊徳の道歌の中の一首で、書は尊徳の曾孫二宮四郎氏である。像寄贈の経緯は、碑の裏面に記されているが、尊徳の生地である小田原市の田嶋 享氏が、尊親の縁の地である豊頃町に寄贈したものである。また、建立された7月29日は、二宮尊親がウシシュベツ原野を探見し植地と決めた日である。尚、像は尊徳が廻村している様子を描いたものであり、等身大と言われている。（調査日 平成22年10月21日）

〈豊頃町える夢館内・図書館前〉（北東向き）



全体像



台座正面



台座側面



近影

◇建立日 平成22年5月29日

◇寄贈者 大谷 勇（大谷教育文化振興財団理

報徳学園理事長）

製作者 南部祥雲

（以上、台座）

◇像の高さ 約120cm

◇台座の高さ 約60cm

◇像の材質 銅製

◇台座の文字等

正面 ~ 二宮尊徳翁之像

至誠と実行 大谷 勇 贈

側面 ~ 二宮尊徳翁之像碑文のプレートが貼られている。

◇所見・由来等

豊頃町の開拓に大きな役割を果たした二宮尊親は、後年、報徳学園の第二代目の校長を務めた方である。報徳学園理事長の大谷 勇氏は、このことに加えて現在も報徳のおしえを推進する豊頃町の一助にと金次郎像を寄贈された。尊徳は、実務と実践に基づく農政家であったが、像は筆をもち廻村する様子を現した尊徳の象徴的な姿である。（調査日 平成22年10月21日）

二宮尊親像の調査・研究

〈豊頃町二宮構造改善センター〉（東向き）



全体像



台座正面



台座裏面



近影

- ◇建立日 昭和30年6月20日（台座）
- ◇寄贈者 社団法人 牛首別報徳会（台座）
- ◇像の高さ 約 50cm
- ◇台座の高さ 約 140cm
- ◇像の材質 銅製
- ◇台座の文字等
 - 正面 ～ 言忠信行篤敬 加藤仁平書
 - 裏面 ～ 二宮尊親翁三十三回忌記念
昭和三十年六月二十日
社団法人 牛首別報徳会

◇所見・由来等

胸像とはいえ、尊親像は珍しい。尊親の指導によって開拓が進められた二宮地区ならではの像である。建立したのは牛首別報徳会であるが、人々の思いや製作者の意図が相まって、表情豊かな像として佇んでいる。穏やかな顔立ちの中にも、開拓の困難さに向かう強い意志も感じられる。尚、尊親像は、牛首別報徳会の配慮によって、入植を決意したという小高い丘（丸山）を望む方向・位置に建立されている。（尊親の墓も同じ方向を向いて建てられている）

（調査日 平成22年10月21日）

〈豊頃町教育委員会・教育長室〉



教育長室金次郎・尊親像コーナー



尊親像近影

- ◇寄贈日 平成22年6月25日
- ◇寄贈者 遠國富徳
- ◇像の高さ 約 21cm
- ◇台座の高さ 約 19cm
- ◇像の材質 陶器製
- ◇台座の文字
 - 正面 ～ 二宮尊親之像

◇所見・由来等

豊頃町の開拓において尊親の果たした功績は大きく、その精神は、今も町民の中に息づき、町民憲章や町教育目標に生かされ、「町づくり」「人づくり」の大きな柱となっている。像は、自ら報徳のおしえを実践している町内在住陶芸家である遠國富徳氏の作品で、教育委員会に寄贈された。尚、像の制作には、町内の土（粘土）が用いられ、赤みがかかった艶が美しい。尊親の写真は、硬い表情のものも多いが、この像は、穏やかに人を引きつけ包み込むような包容さを感じさせるものである。現在は、教育長室に置かれ、来客の目を引き付けている。

（調査日 平成22年12月16日）

〈豊頃町立大津小学校内〉



報徳コーナー



全体像



台座正面

◇寄贈日 平成23年5月6日

◇寄贈者 遠國富徳

◇像の高さ 約 38cm

◇台座の高さ 約 37cm

◇像の材質 陶器製

◇台座の文字

正面 ~ 二宮尊親之像

◇所見・由来等

豊頃町内の各学校では、報徳のおしえに関わる教育が、積極的に行われている。大津小学校では、これまで金次郎像などは設置されていなかったことから、遠國富徳氏の尊親像の寄贈を受けることになった。像は、児童玄関の正面に設置され、尊親の曾孫二宮清三氏の直筆である「子ども報徳訓」などの報徳に関わる資料などとともにある。尊親像を迎えて児童は、「優しくそうな顔で、いつも私たちの学校を見守ってくれているようです」「うちの学校に金次郎像がなかったので、尊親像が来て嬉しいです」「毎朝の登校時や下校時に像を見て、報徳のおしえを思い出します」などの感想を持っているという。学校の指導もあって教育的な意義は、十分に果たされていると思われる。（調査日 平成23年 6月 6日）

〈豊頃町図書館内(える夢館内)〉



報徳図書コーナー



全体像



近影



台座正面

◇寄贈日 平成23年7月吉日

◇寄贈者 遠國富徳

◇像の高さ 約 38cm

◇台座の高さ 約 38cm

◇像の材質 陶器製

◇台座の文字

正面 ~ 二宮尊親之像

◇所見・由来等

豊頃町の生涯学習施設「える夢館」内に、同町の図書館がある。その入り口に入って、すぐ右手に二宮尊徳と尊親に関わる図書を紹介する「報徳図書コーナー」がある。尊親像は、そこにある。制作・寄贈者は、これまで大津小学校と教育委員会教育長室に尊親像を制作し寄贈した遠國富徳氏である。遠國氏は、都合3体の尊親像を寄贈しているが、その中でも一番大きな像である。他の尊親像と違い眼鏡はかけていないが、表情や焼き上がりの光沢、色具合などに配慮して制作された様子が見える。尚、「報徳図書コーナー」には、尊徳（向かって左）と尊親（向かって右）の写真も掲げられていて、報徳に縁の町であることが分かる。

（調査日 平成23年 8月10日）

二宮尊徳の道歌

咲けばちりちれば又咲き年ごとに　ながめ尽きせぬ花の色々

山々のつゆあつまりし谷川の　ながれ尽きせぬおとぞ楽しき

天地の和して一輪福寿草　咲くやこの花幾代経るとも

受け得たる徳をおのおの報いなば　幾世経るともこれに止まる

我をすてて浮世とともにたのしめば　月日の数もしらぬなりけり

山寺の鐘つく僧は見えねども　四方の里人とききを知りなん

丹精は誰知らずともおのづから　秋のみりのりまさる数々

不二の山のぼり詰めたる夕には　こころの宿に有明の月

